

環境園芸学科 10月

秋冬野菜の虫退治、笑顔で芋掘り 10月3日、10月17日



秋冬野菜の虫を取り追肥土寄せ、2回目のレタスや大根を播種しました。サツマイモ掘りは土が硬く大変でしたが笑顔で作業できました。コマツナ、チンゲンサイが採れだし、ナス、ピーマンなど夏野菜もまだまだ収穫出来ます。



- ・レタスの定植の黒マルチ掛けを前にもしたのに、土掛けの仕方を再度正しく教えて頂き、自分の間違っていたやり方を知れて、本当に良かったです。
- ・サツマイモを毎年収穫していたが、すぐ食べると美味しくないことを初めて知った。1か月待つ。
- ・秋冬野菜の追肥の蒔き方、土寄せを実際に担当し、より詳細な注意点がわかりやすく学べた。ほ場内の草の処分の仕方、雑草の利用の仕方がわかり、今後の草取り、処分等実行していきたいと思いました。
- ・今日の芋掘りは紅はるかです。とてもたくさん収穫出来ました。しばらく寝かせてから食べるようです。食べるのが楽しみです。鳴門金時と食べ比べしないとね！
- ・ダイコンの種まきの後の踏む作業、横向きで歩く（蟹の横這い）と全体が平らになると聞きやっただが、なるほど…。



- ・ダイコンの播種の仕方を学んだ。種の5倍くらい掘ればよいと聞き、今まで深く掘ればよいと思い込んでいたことが誤りだと気づき、勉強になりました。
- ・ジャガイモが暑さによる土壌高温で発芽率が半分以下になったこと、驚きです。土の中で腐っていることを知った。今後暑さ対策として時期、日除け、水分の与え方等工夫が必要と感じる。



環境学習(稲武地区) 10月10日



面の木風力発電施設



「面の木風力発電施設」、「まゆっこセンター」、「きのこの郷」を見学。市稲武支所、古橋財団常務理事、吉田社長から丁寧な説をいただきました。

- ・(風力発電施設) ・いつも遠くから見ているだけの風車でしたが、今回近くまで行け風車の仕組みや稼働状況を説明して頂き勉強になりました。
- ・風力発電を初めて見学し学べた。LCA(ライフサイクルアセスメント)含め、自然エネルギーの収支は難しいと改めて実感しました。
- (まゆっこセンター) ・大正、平成、令和の大嘗祭の説明を聞いて驚きました。稲武の地から毎年伊勢神宮や熱田神宮に生糸を献納したり、天皇の即位に絹織物(にぎたえ)を調進していることも全く知りませんでした。使命感を持って伝統文化を継承されている「まゆっこクラブ」の皆さんに頭が下がります。
- ・稲武町で絹を作っていること、初めて知りました。とてもきれいなものでした。市や県からもっと支援して欲しいと思いました。

- (きのこの郷) ・スーパーなどで「菌床しいたけ」よく見かけ、どんな栽培方法だろうって常々思っていました。見学させて頂き、よく理解できました。
- ・菌床をはじめから作って栽培されていることを初めて知りました。こうした施設の維持管理や菌床の温度、湿度の管理など大変なんだろうなあ。

まゆっこセンター 古橋常務理事



きのこの郷 吉田社長

